

ダイヤル形トルクレンチ

DB / DBE

ワイドレンジ、高精度。
検査用トルクレンチのグローバルスタンダード。



DB100N-S

※型式末尾の“-S”は最大値の読み取りに便利な置針付を示します。



DB12N5-S



目盛部拡大



DBE700N

- ワイドレンジ（例：DB200Nは測定範囲が20～200N・m）
高精度、全機種±3%（指示値：RDによる）
軽量（例：DB200Nは約1.0kg）
全機種、見やすい大型トルク目盛付き。
- DB-S型は最大値の読み取りに便利な置針付。
- DB25N5～DB280N5の握り手は樹脂グリップ付き。

東日のトルク機器

型式		トルク調整範囲 [N・m]		全長約 [mm]	角ドライブ [mm]	質量約 [kg]
置針無	置針付	最小～最大	1目盛			
DB1.5N4	DB1.5N4-S	0.2～1.5	0.02	203.5	6.35	0.4
DB3N4	DB3N4-S	0.3～3	0.05			
DB6N5	DB6N5-S	0.7～6	0.1			
DB12N5	DB12N5-S	1.4～12	0.2	246.5	9.53	0.6
—	DB25N5-1/4-S	3.5～25	0.5			
DB25N5	DB25N5-S	5～50	1	398	12.7	1.0
—	DB100N-3/8-S	10～100	2	501		
DB100N	DB100N-S	20～200	5	691		
DB200N	DB200N-S	35～280	10	890	19.05	2.5
—	DB280N5-1/2-S	40～420	20	1102.5		
DB280N5	DB280N5-S	50～560	50	1260	25.4	4.0
DB420N	DB420N-S	70～700	100	1361		
DBE560N	DBE560N-S	100～1000	200	1488		
DBE700N	DBE700N-S	200～1400	500	1740	38.1	16.8
DBE850N	DBE850N-S	200～2100	20	2142.5		
DBE1000N	DBE1000N-S	350～2800	50	2383		

注：□25.4以上の角ドライブには貫通穴ソケットをご使用ください。

ダイヤル形トルクレンチの使い方

1. ニードルが“0”を指すように目盛りを合わせます。(図1)

カガミイタを軽く押さえ付けながら左右に回します。

※置針付の場合は、カガミイタの中心に付いている置針つまみを測定方向と逆方向から回して“0”に合わせて使用してください。



図1

2. ソケットを角ドライブに挿入します。

3. ソケットをボルトの頭部またはナットに合わせます。

4. グリップの中心を握って目盛りを見ながら測定方向に回します。

5. ニードルをあらかじめ所定のトルクに合わせて目盛が“0”を示すように使用することもできます。(図2)

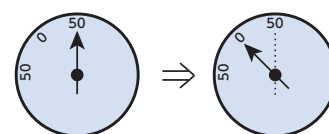


図2 (50N・mで使用する場合)

DBEを使う場合は最初にエクステンションハンドルを取り付けます。ピンが本体に確実にロックされたことを確認してください。

関連製品

■ヘッド交換式ダイヤル形トルクレンチ CDB-S



CDB100NX15D-S

- ・用途に合わせてヘッドが交換できる省コストトルクレンチ。
- ・全機種、最大値の読み取りに便利な置針付。

ご注文の方法

東日 型式 をご明示ください。

[例1] 東日 DB12N5

[例2] 東日 DB100N-S

取扱店

- 東日製作所製品は改善改良のため予告なく仕様その他を変更する場合があります。
- 不許複製。許可無く Web サイトへの掲載を禁止します。
- ©TOHNICHI Mfg. CO., LTD. All Rights Reserved.



株式会社 東日製作所

——トルクの事ならお気軽に、ご相談ください——

フリーコール トルク トーニチ

フリーコール 0120-169-121

(フリーコール受付時間：土・日・祝祭日を除く8:30～17:15)

URL ▶ <https://www.tohnichi.co.jp>